



教頭先生より



教頭 満丸 浩

生徒の皆さんには日頃から鹿工の3年間で授業や資格試験などを通して、「学力を基盤とした生活力」を、部活動や大運動会などの学校行事を通して「心豊かな人間力」をバランスよく身に付けようと話をしています。最近、それに加えて教養を身に付けることが必要だと感じています。必要だと感じた例を一つあげると、先日、ある会で名前の読み方が話題になりました。「東子さん」を何と読むか、「とうこ」とも読みますが、その時の正解は「はるこ」でした。名付けた方は、菅原道真の「東風（こち）吹かば匂ひおこせよ梅の花・・・」の一首が浮かび、東風から春を連想し、名前をつけられたのではとのことでした。連想できない自分が恥ずかしい限りですが、教養を身に付けることは一朝一夕にはできません。一生涯学び続けることが、大切だと思います。生徒の皆さん「Continues Learning学び続けよう」

全国大会報告

ラグビー部

建築系3年 小藺 恭平

私たちは12月27日から開幕されました、全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場しました。

全国の舞台では、レベルの高い強豪校などの雰囲気にも圧倒されることなく開会式を終えることが出来、試合に挑むことができました。

私たちが花園の舞台に立てたのも、日頃から熱心に指導してくださる先生方、支えてくださるOB会、保護者会の方々、またクラスメイトの応援があってこそだと思います。

今回結果が出せず残念ですが、これからの人生にとって大きな経験となりました。

本当に熱い声援ありがとうございました。



メカトロ部

電気技術系3年2組 鬼塚 俊太郎

私たちメカトロ部は、1月11日から12日にかけて北海道札幌市で行われたジャパンマイコンカーラリー 2014全国大会に出場してきました。私自身は初の全国大会ということもあり、北海道特有の気温や湿度、また練習環境とは異なる照明等に戸惑い、最後までマシンのセッティングが決まりませんでした。結果は予選敗退と悔しい思いをしましたが、多くの高校のマシンを見ることができ、得たこともたくさんありました。この貴重な体験ができたのも、先生方の協力があったからこそだと思います。

ありがとうございました。私は、今回で引退しますが、残された期間できるだけ多くの技術を後輩達に伝え、次こそ全国大会で結果を残してもらえよう全力でサポートしようと思います。これからも応援よろしくお願いします。



弓道部

1年2組 辻 智範

私は12月21日から3日間、大阪府で開催された全国高等学校弓道選抜大会に出場しました。

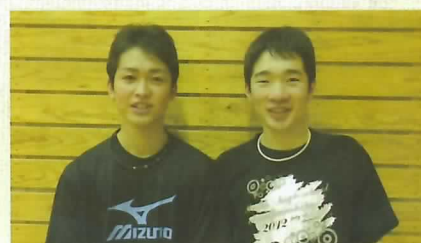
会場が大阪市総合体育館の特設会場で、今までに味わったことのない全国大会の雰囲気にとっても緊張しました。予選は四矢で行われました。先生方や先輩、友達に指導されたこと事を確認しながら直前まで調整をし、本番に挑みましたが思い通りの射ができず、予選を通過することが出来ませんでした。しかし、全国大会の場で射射が出来たという自信とこれからの課題など多くのことを得ることができました。周りの支えに対する感謝の気持ちを忘れることなく夏のインターハイでのリベンジに向けて、全員で頑張っていきたいです。



卓球部

電子機械系2年2組 山口 拓矢 1年4組 岩城 友聖

私たちは1月14日から1月19日の6日間東京体育館で行われた全日本卓球選手権に出場しました。ジュニア男子シングルス、男子シングルス、混合ダブルスに出場しましたが結果を残すことができませんでした。今回の試合を終えて、反省すべきところや改善すべきところがたくさんあったので、これからの練習を考え、全国大会などで結果を残していきたいです。



～ 進 路 体 験 記 ～



電子機械系3年1組 河野 龍

私はこの度、J F E スチール株式会社西日本製鉄所に内定を頂きました。私は電子機械系に進級してから、授業や実習を通して製鉄業に興味を持ち、担任の先生の勧めもありこの会社を受験しました。

夏休みは部活動があったため、練習後に学校へ行き、筆記試験対策や面接練習など、とても忙しい日々が続きました。特に面接練習では、入退室の仕方、質問の受け答え、身なりや姿勢など多くの

指導を受けました。何度も嫌になりましたが、先生方の「キバレ」という言葉が私の支えでした。そして試験当日は筆記、面接ともに自信を持って受験でき、内定を頂くことが出来ました。これも先生方の熱心なご指導のおかげだと思います。

在校生の皆さん、進路を実現するには、辛いことから逃げずに努力し続けることが大切だと思います。努力をする苦しみはその時だけですが、努力をしなかった悔しさは一生残ると思います。努力は決して裏切らない、そう信じて自分の進路実現のために頑張ってください。



電子機械系3年2組 川野 太郎

この度、株式会社クボタに内定を頂きました。私はインターンシップの水道局での業務を通してクボタの水道管に強い興味を持ちました。さらに社会全体から必要とされる製品を世に送り続ける姿を企業見学で目の当たりにし、迷わず受験を決意しました。就職試験対策は夏休み前から本格的に始めるのですが、私の所属する軟式野球部は全国大会を控えており、午前中は練習、午後は夜遅くまで勉強と面接練習の毎日でした。空いている時間を有効に活用し、面接を中心に練習して部活動

との両立を図りました。また、全国大会で結果を残し、入社試験の合否発表の直後にある東京国体への出場も決まったので、絶対に落ちることはできないという強い覚悟を持って試験に臨みました。部活動で身につけたこと残した数々の結果、自分のアピール材料全てを会社に伝え、勉強の成果を本番で出せたのでよかったです。内定を頂き、その後の国体でも優勝を果たし、きつても充実した高校時代を送ることができました。在校生の皆さん、部活動などで対策が十分にできない状況でも、諦めずに夢実現に向けて文武両道に励み、悔いを残さない充実した高校生活を送ってください。



電気技術系3年1組 濱田 晃佑

この度、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社に内定を頂きました。

私は、やりがいのある仕事がしたいと思い電気技術系で電気について学んできました。先生方からの勧めもあり、以前から興味を持っていた自動車関係の会社を選びました。求人票や会社見学などを通して、カーナビゲーションシステムやA/T(オートマチックトランスミッション)が世界トップシェアということ

を知り、私もこの会社で高い技術を身につけたいと強く感じました。

この会社を受験するにあたり、先輩方の受験報告書を見て過去問を解いたり、色々な先生方と積極的に面接練習をしました。試験当日は筆記・面接とも緊張せずに臨むことができました。無事に内定を頂いたのも、これまで自分を支えてくれた家族や先生方など、多くの方々のおかげだと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れずに社会人として成長できるように頑張りたいです。



電気技術系3年2組 蒲ヶ原 拓哉

私はこの度、九州電力株式会社に就職内定を頂きました。「ずっと先まで明るくしたい」「未来の子ども達に繋げていく」という九州電力の企業概念に共感し自分も、明るい未来と子供達の笑顔を作りたいと思うようになり、内定に向けて真剣に勉強を始めました。

途中で挫けそうになったとき支えとなったのは、クラスや三年生全員で作出した合格に向けての雰囲気でした。一人ひとりの合格に向けての熱意と努力が自然と作り出したものだと思っています。

試験で見せる「工業ブランド」は、この雰囲気からきているものと思

いました。

また今、九州電力から内定を頂いたのも、今までに不自由なく育ててくれた両親、一人ひとりに対応した面接をしてくださった先生方、辛いときに励ましてくれた仲間などの周りの支えがあったからだと思います。絶対に一人では辿り着くことは出来なかった道です。私はこの感謝の気持ちをいつまでも忘れずに社会人になりたいと思います。

在校生の皆さん今が一番きつい時だと思いますが、今まで育ててくれた両親をはじめに支えてくれている周囲への感謝の気持ちがあればあともうひと踏ん張り出来ると思います。

夢実現に向けて頑張ってください。



情報技術系3年 平木場 風太

私はこの度、宮崎大学工学部情報システム工学科に進学することになりました。私はプログラミングやシステム開発にとっても興味・関心をもっており、将来は人々の身の回りで役に立つようなシステム・技術を開発したいと思っています。そのためには情報に関する知識だけでなく、考えを実際のものにするための技術を身につける必要があると考えています。だから情報技術系で学んだ内容の更に上に行く知識・技術

を身につけたいと思い、情報システム工学科への進学を決意しました。

受験にあたっては、様々な先生方からいろいろなご指導を頂くことで、自分を見つめなおし、新たな可能性を発見することができました。これから受験する皆さんに伝えたいことは、様々な方々の多様な意見を知ってもらいたいということです。悩んでいることや気になることがあれば、ぜひ積極的に話を聞きに行くなどの行動をしてください。

夢を実現するまでの道のりはとても大変だと思いますが、最後まで自分を信じて頑張ってください。応援しています。



工業化学系3年 村尾 隆彰

私はこの度、三井化学株式会社岩国大竹工場に内定を頂きました。私は、工業化学系に進級して、化学の知識を身につけていくうちに化学製品を製造する会社になりたいと思いました。そんな中、三井化学の岩国大竹工場では私たちの身の回りにある化学製品の原料を製造している事を知り、とても興味を持ちました。先生とお話をした際に、様々な製品の製造方法を実験するテストプラントに先輩が働いている事を知り、ここで自分の在学中に培った力を発揮したいと思い、受験すること

を決めました。

普段から難関資格にも積極的に取り組み、夏休み中は専門教科を重点的に勉強しました。本番で緊張しないように、面接練習もしっかりしました。そのおかげで、本番ではリラックスして受ける事ができました。

こうして無事内定を頂く事ができたのも、先生方の協力や周囲の人々の支えのおかげなので、これからも感謝の気持ちを忘れずに社会人として頑張っていきたいと思っています。在校生の皆さん、自分の進みたい目標を早めに考えて、それを実現できるように一生懸命努力し、周りの人々の期待に応えられるように頑張ってください。



建築系3年 中村 博文

この度、松尾建設株式会社に内定を頂きました。私は幼い頃から建築関係の仕事に就きたいと思っていました。三年間建築の勉強を通して、また先生方の話を聞いて将来は施工管理技士になりたいと思いました。夏休みは、受験先が決まっており、面接練習や筆記試験の勉強に励みました。先輩方の受験報告書によると、面接が九対一でとても緊張するが、面接がかなり大切だとありましたので、筆記ももちろんですが面接に特に力を入れて取り組みました。担任・系の先生だけでなく、その他沢山

の先生方に面接指導をして頂き、様々な質問に対して自信を持って自分の考えを述べる事ができるようになりました。試験当日はとても緊張しましたが、練習してきた事を発揮でき大きな声ではきはきと自分の思いを伝える事ができました。後日内定を頂いた時は、とても嬉しくひたすら何度も面接練習をして下さった先生方のお陰だと思いました。

振り返ってみると、私は希望先の会社を決定する時期が少し遅く、時間を無駄にしただけ焦っている時がありました。しかし、決まっただけは受験報告書を基に努力をしていくことができるので、早い段階での受験先の決定は必要だと思いました。



建設技術系3年 朝隈 和也

私はこの度、東京都庁に内定を頂きました。

私が志望した理由は、まず一般企業よりも人々と向き合っている仕事ができる公務員の仕事に就きたいと考えて、多くの自治体の中でも工事の規模が大きく、国内最大の人口を誇る東京都で働きたいと思い、志望しました。公務員試験は、出題科目や範囲が多く様々な分野を学習する必要がある

りました。2年の冬休みから対策を始めて、3年の夏休みには土木の専門教科は学校の先生と、一般分野は塾に通い勉強しました。途中きつと感じることがありましたが、先生方や同じ公務員を志す友達と一緒に頑張ったので、続けていくことができました。

後輩の皆さんは、自分の実力で進路を決めるのではなく、今のうちから勉強をして、自分が本当に進みたい進路先を目指して頑張ってください。



インテリア系3年 田尻 佳奈

この度、株式会社島津興業より内定を頂きました。私が志望したきっかけは、インターンシップの際、社員の方々のプロ意識に感動したからです。希望していた島津興業は、年度当初、採用計画はないと言われていました。しかし、どうしても切子職人になりたくて、他の工場を見学したり、切子の企画を見に行ったりしていたところに、求人票を頂くことができました。

試験は十月と遅く、待っているのが不安でしたがその代わり作文・面接の練習が十分できました。本番はとても緊張しましたが、無事一週間後に内定の通知を頂きました。

今回、私が合格できたのも先生方の協力や支えがあったからこそだと思います。やりたいことがあるなら、諦めずに夢に向かって前向きであり続けることが大切です。一・二年生の皆さんも進路実現に向けて頑張ってください。

■ 課題研究発表会

一月に各系の3年生による「課題研究発表会」が実施されました。

3年生全員が課題を設定し、この1年間課題の研究や作品制作に取り組みました。

報告会では完成した作品を展示したり、パワーポイントを使っての説明などがあり、来年度取り組む2年生は興味深く説明を聞いていました。



情報技術系



建築系



インテリア系



建設技術系



電気技術系



工業化学系



電子機械系

■ 産業現場見学会 1月24日

本校では「総合的な学習の時間」において、自己の在り方生き方を考え、広い視野に立った進路選択ができる能力を身につけさせることを目標に、1年生に対して進路講話や産業現場見学など様々な進路学習を実施しています。今回のテーマ「産業現場見学会」では、実際の職場を見学することによって、生徒一人一人が仕事に対する意識の向上を図るとともに自己の将来について真剣に考える事をねらいとしたものです。この経験をこれからの高校生活に生かし自身の夢実現が達成される事を切に望みます。



建設技術系



インテリア系



工業化学系



建築系



情報技術系



電子機械系



電気技術系

■ 芸術鑑賞会

12月18日、本校体育館にて、生徒の豊かな情操と創造的感性の向上を図ることを目的として毎年恒例の芸術鑑賞会が開かれました。本年度は株式会社、東京演劇集団風から劇団員の方々をお招きし、「Touch～孤独から愛へ」という題目の演劇を公演して頂きました。体育館内に設置された巨大なセットと、劇団員の方々の吸い込まれるような演技、また迫力のある音声、照明などに鹿工の生徒も息を呑んで観ている姿が印象的でした。普段はあまりない機会に、生徒たちも芸術をこのような形で触れることができ、よい経験が出来たと思います。またこの経験を今後の人生に生かして行ってほしいと思います。

最後は、劇団員の方々に花束を贈呈し、記念撮影等も行いました。



■ 吹奏楽部定期演奏会

昨年12月25日、宝山ホールにおきまして第39回定期演奏会を開催しました。一年前の前は約600名の来場者数でしたが、今回は900名を超える多くの方々にご来場いただき、盛大に開催することができました。

今年度は本校25年ぶりとなる県大会金賞を受賞したことも来場者数の増加につながったものと思われますが、当日はクラシックから演歌、映画音楽、歌謡曲、クリスマスソングといった幅広いジャンルの曲を17曲演奏し、この演奏会を最後に引退する三年生17名にとっても、思い出に残る素晴らしい演奏会になりましたことを大変嬉しく思います。このように応援してくださる方々への御恩を忘れずに、今後も精進を重ねていきたいと思っています。



■ 軟式野球部 県知事賞ほか各賞受賞

第68回国民体育大会高等学校野球競技（軟式の部）優勝に対して、鹿児島県知事表彰「スポーツ部門」を軟式野球部が受賞しました。その表彰式が2月6日、鹿児島市の県庁であり、伊藤祐一郎知事から「みなさんの活躍は県民に感動と活力を与えた。今後も競技力向上の原動力となってもらいたい」と激励され、賞状、表彰楯やメダルを戴きました。メダルを手にしながら、「これは個人ではなく、これまでお世話になった多くの方々を代表していただくメダルなんだ。」と思い、改めて感謝の気持ちで表彰式に出席させていただきました。また、南日本新聞社の「第52回スポーツ賞優秀団体賞」と県教育委員会の「いきいき教育活動表彰」も受賞したこともご報告させていただきます。ありがとうございました。



3月の主な行事

3月3日（月）	第66回卒業式	3月14日（金）	合格者発表	3月28日（金）	離任式
3月6日（木）・7日（金）	一般入学試験	3月17日（月）	合格者集合		
6日（木）～12日（水）	自宅学習期間	3月25日（火）	終業式		



ホームページ <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/top.html>
 E-mail kagoshima-t-sh@edu.pref.kagoshima.jp
 携帯用サイト <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/mobile/mtop.html>